

勝山市の当初予算

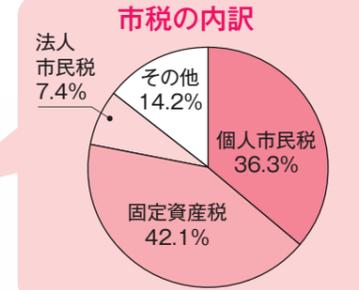
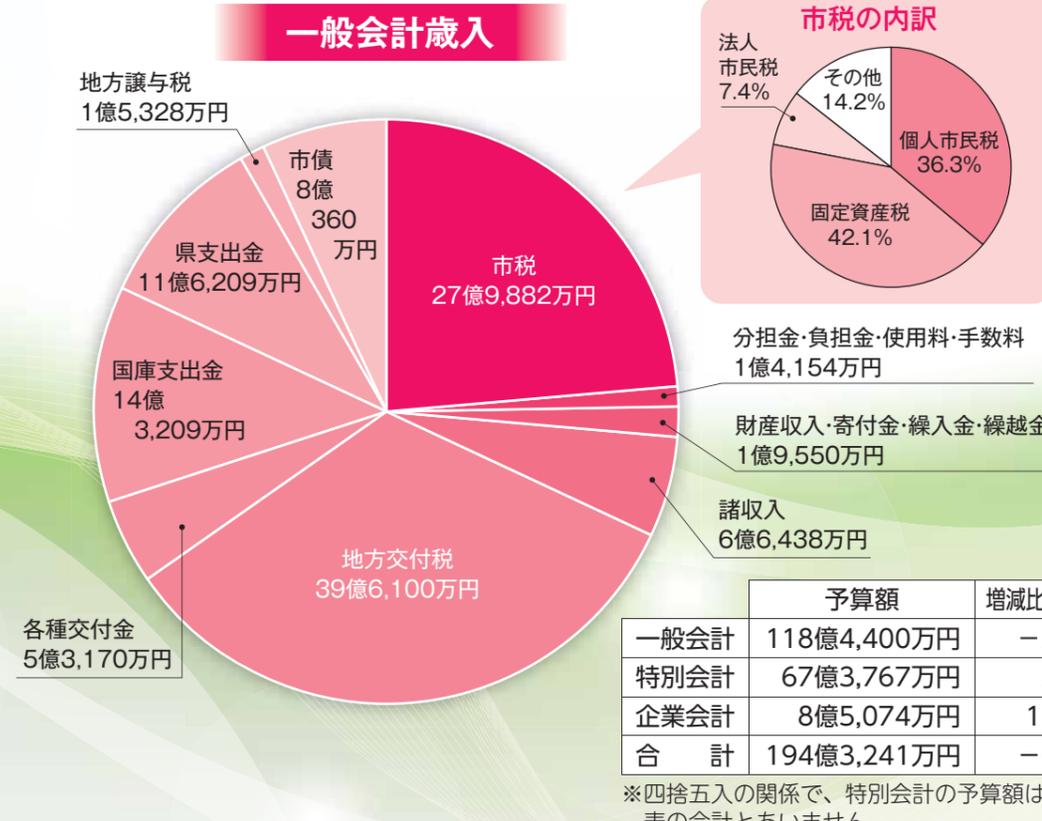
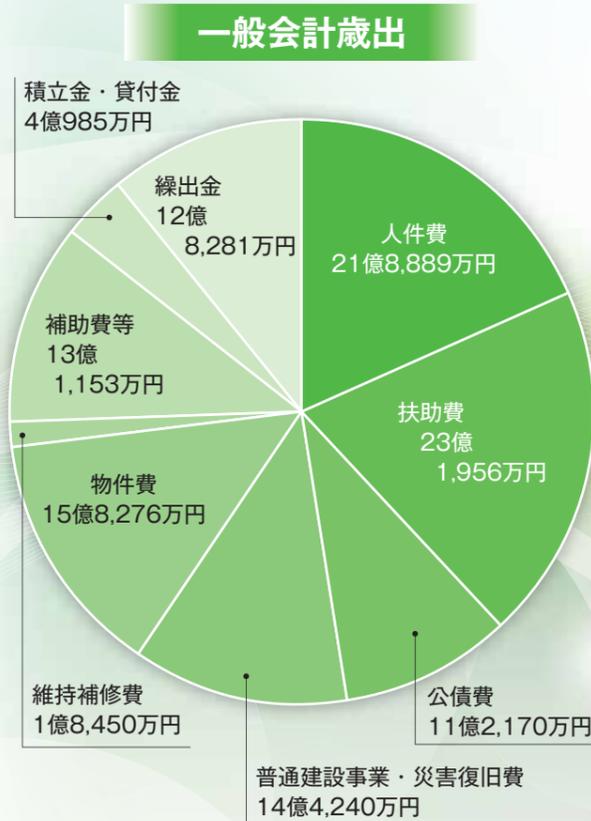
「小さくてもキラリと光る 誇りと活力に満ちた ふるさと勝山」を目指して

特別会計

特別会計名	予算額	増減比(%)
育英資金会計	3,836万円	-18.9
下水道事業会計	10億682万円	33.1
農業集落排水事業会計	1億7,625万円	4.5
国民健康保険計	23億6,195万円	-2.4
後期高齢者医療計	3億2,159万円	2.5
介護保険会計 保険事業勘定	27億6,338万円	0.6
介護保険会計 介護サービス事業勘定	910万円	-7.1
市有林造成事業計	6,023万円	-25.9

企業会計

企業会計名	予算額	増減比(%)
水道事業会計	8億5,074万円	12.1



	予算額	増減比(%)
一般会計	118億4,400万円	-2.4
特別会計	67億3,767万円	2.7
企業会計	8億5,074万円	12.1
合計	194億3,241万円	-0.1

※四捨五入の関係で、特別会計の予算額は3Pの表の合計とあいません

普通建設事業費
補助対象事業では、道の駅建設事業が本格化しましたが、皆減となる事業が3事業ありました。市単独事業では、道の駅建設事業、勤労者体育館の取り壊し、成器西小学校の改修工事などが増額となり

扶助費
障がい者福祉費の給付費の伸び、保育士処遇改善などによる公定価格の増額などがあります。児童数の減少、市内4保育園の認定こども園への移行、生活保護受給者数の減少などにより、扶助費全体では、前年度比約1千1百万円減額の約23億1千9百万円となりました。

人件費
行政組織の改編を行い、職員数を大幅に削減しました。職員数が前年度比18人減（再任用職員除く）となることから、人件費全体では、前年度比約8千4百万円減額の約21億8千9百万円となりました。

歳出

補助費等
大野・勝山地区広域行政事務組合負担金が増額となりましたが、地域農業確立に向けた集積協力金、ふるさと納税返礼品、特色ある地域づくりを目指す地域力向上事業補助金などが減額となり、前年度比約6千8百万円減額の約13億1千2百万円となりました。

物件費
委託料は、道の駅設備等整備事業や固定資産評価替え業務などが増額となりましたが、福井しあわせ元気国体の運営にかかる業務、地方創生推進交付金対象事業として実施した映像作成等事業などが減額となりました。

繰入金
ジオアリーナ建設時に借り入れた市債の元金償還が順次開始となり公債費が増額となりました。また、福井しあわせ元気国体・大会開催経費の皆減、職員人件費の大幅な減額などにより、繰入金全体では前年度比1億1千1百万円減額の9千4百万円となりました。

歳入
市民税は、個人市民税が税制改正の影響から減額となり、市民税全体でも減額となりました。また、固定資産税においても「生産性向上特別措置法」の適用を受け減対象となる中小企業の影響などから、全体でも減額となる見込みです。

地方交付税
当市の地方交付税は、市税の減収や公債費の増額に加え、過年度の精算分の増額などにより普通交付税は大幅な増額、特別交付税は減額を見込み、前年度比約1億3千1百万円増額の約39億6千1百万円を見込みました。

市税
市民税は、個人市民税が税制改正の影響から減額となり、市民税全体でも減額となりました。また、固定資産税においても「生産性向上特別措置法」の適用を受け減対象となる中小企業の影響などから、全体でも減額となる見込みです。

歳入
総額は、前年度比約2億8千9百万円減額の118億4千4百万円を計上しました。

一般会計は前年度比2.4%減の118億4千4百万円
平成31年度の当初予算は、厳しい財政状況の中にあっても、持続可能な勝山市であり続けるために、次の3点に最大限留意した予算編成としました。
① 財政の健全化を最重要課題とする
② 将来を担う子どもたちや将来に向けた生活環境整備への積極的投資を行う
③ 勝山の魅力をより強力に発信し続けていく
市税全体では、前年度比約3千3百万円減額の約27億9千9百万円を見込みました。